

病虫害情報 No.8

茨城県病虫害防除所

ハクサイ，キャベツ，ダイコンなどアブラナ科野菜の害虫

ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）の発生が多くなると予想されます。発生初期に防除しましょう！

[現在の状況]

8月中旬現在，笠間市で実施している誘致植物（クレオメ）を用いた発生予察調査において，ハイマダラノメイガ幼虫の寄生虫数は，過去6年間の平均値と比較してやや多い（図1）。

クレオメ：フウチョウソウ科の草花で，ハイマダラノメイガが好んで寄生する植物

8月中旬現在，水戸市のキャベツ圃場で被害株を確認した。

本年の夏季は，本虫が多発する傾向にある高温少雨で推移している。気象予報（8月20日発表）によると，向こう1か月の気温は平年より高く，降水量は少ないと予想され，本虫の発生を助長する条件である。

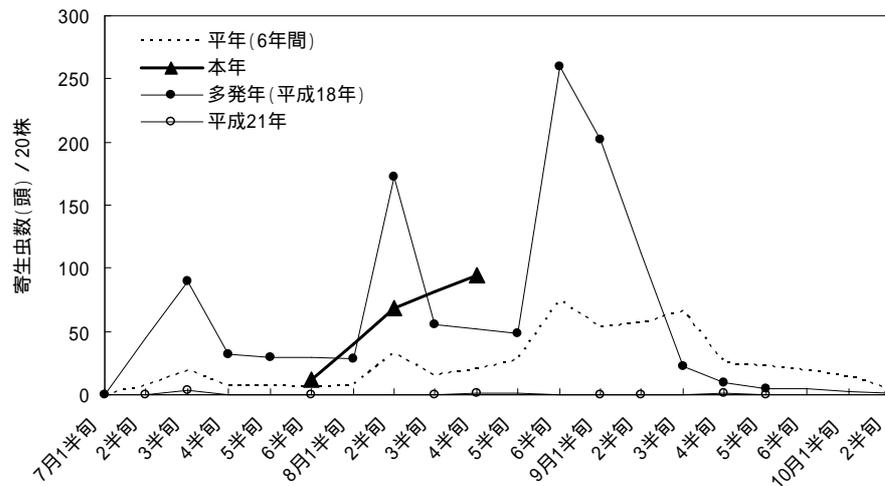


図1 クレオメにおけるハイマダラノメイガ寄生幼虫数の推移
(調査地点: 農業総合センター園芸研究所内圃場(笠間市))

[防除対策]

本虫は，アブラナ科野菜の幼苗期（育苗期や本圃での生育初期）に，幼虫が生長点付近を加害する。このため，この時期に加害されると芯止まりになるので，早期発見，早期防除に努める。また被害を未然に防ぐための粒剤施用は，有効である（適用作物・防除薬剤は表1を参照）。

今後，9月中旬にかけて発生量がさらに増加すると予想されることから，この時期に播種や育苗・定植を行うアブラナ科野菜は特に注意する。また，その後も10月上旬頃までは発生が続くので，引き続き注意する。

苗床は，防虫ネット（1mm目合い程度）などで覆い，成虫の侵入を防ぐ。

薬剤散布の際は，農薬使用基準を守るとともに，周囲への飛散（ドリフト）に十分注意する。

表1 ハイマダラノメイガに登録のある主な薬剤（平成22年8月10日現在）

系統名	薬剤名 (有効成分名)	作物名					
		ハクサイ	ダイコン	キャベツ	カリフラワー	ブロッコリー	カブ
ネオニコチノイド	ダントツ粒剤 (クロチアニジン)						
	モスピラン粒剤 (アセタミプリド)						
有機リン	ディプテレックス乳剤 (DEP)						
BT	エスマルクDF (BT)						
その他	アフーム乳剤 (エマメクチン安息香酸塩)						
	コテツフロアブル (クロルフェナビル)						
	スピノエース顆粒水和剤 (スピノサド)						
	ハチハチ乳剤 (トルフェンピラド)						
	ハチハチフロアブル (トルフェンピラド)						
	フェニックス顆粒水和剤 (フルベンジアミド)						
	プリンスフロアブル (フィプロニル)						
	プレオフフロアブル (ピリダリル)						
	プレバソンフロアブル5 (クロラントラニプロール)						

農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法、注意事項等を確認のうえ使用して下さい。特に、作物名の分類については間違いやすいので十分注意してください。